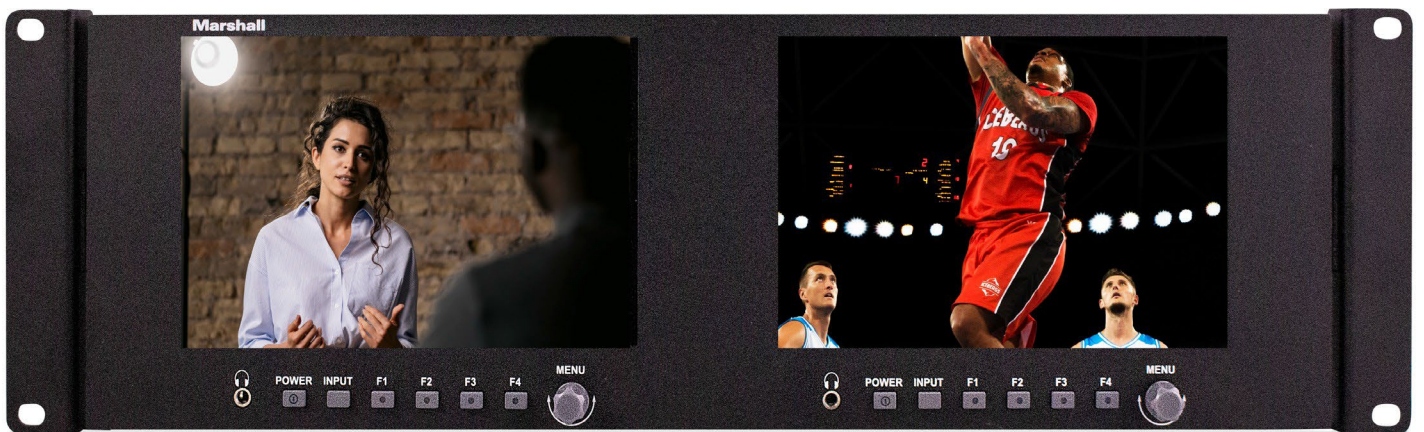


Marshall

Broadcast A/V Division



V-702W-12G

Dual 7" Rackmount Monitor
with 12G-SDI and HDMI Inputs

Operation Guide

日本語版

目次

1. はじめに	2
2. 内容物.....	2
3. 製品の説明	3
4. メニュー設定.....	6
5. 仕様	17
6. トラブルシューティング	17
保証.....	18

1. はじめに

重要な安全に関する注意事項

- ・ 製品をご使用になる前に、必ず取扱説明書(本書)をお読みください。
- ・ 今後の参照のためにマニュアルを保管しておいてください。
- ・ コンポーネントの故障や劣化を防ぐために、以下の注意事項をお読みください。

ご注意

- ・ LCD 表面の傷を防ぐため、モニターを横向きに置かないでください。
- ・ 強い衝撃を避けてください。
- ・ この製品の洗浄に化学溶液を使用しないでください。清潔な柔らかい布で拭くだけで、表面の明るさを維持できます。
- ・ 通気孔をふさがないでください。本製品の下に設置されている発熱機器に注意してください。
- ・ 製品を調整するには、次の手順とマニュアルのトラブルシューティングセクションを使用してください。内部の調整または修理は、Marshall Electronics のみが行います。

2. 内容物 **※要確認**

V-702W-12G には、次のアイテムが含まれていることを確認してください。

ご購入後はすぐに本体に損傷がないかなど製品が正常動作するかをご確認ください。損傷がある場合は、すぐにご購入販売店にご連絡をしてください。

番号	品名	数量
1	V-702W-12G モニター(本体)	1
2	DC 12V 3A ユニバーサル 120/240 VAC 50/60 Hz 電源アダプター 5.5mm x 2.1mm プッシュコネクター付き	1
3	タリーキット プラグインモジュールで 15 ピンコネクタをハンダレス端子台に適合	1
4	取扱説明書(本書)	1

PCSet Remote Terminal アプリケーション

PCSet Remote Terminal は、1 台のコンピュータから複数のモニタを制御するための便利なソフトウェアツールです。PCSet は Windows™ ベースのコンピュータ (XP 以降) で実行でき、デスクトップアイコンを作成するだけですぐにインストールできます。デスクトップアイコンをダブルクリックするだけで、コントロール画面が表示されます。PCSet はネットワーク上のモニターを検出し、それに応じて制御機能の表示を調整します。現在、モデル ML-503, ML-702, V-702W, V-702W-12G で動作します。

PCSet Remote Terminal アプリケーションはここからダウンロードします。

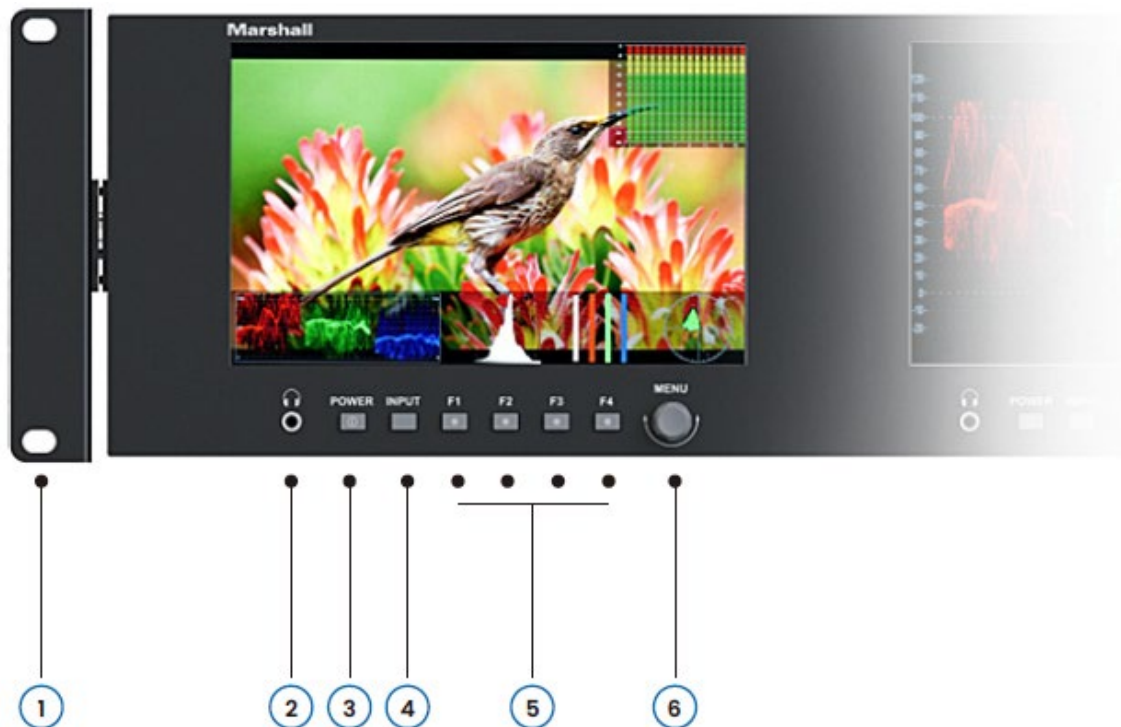
<https://marshall-usa.com/software/PCSet-Remote-Terminal.zip>

電源情報

交換用電源は、Marshall Electronics に問い合わせで部品番号 V-PS12V-5A-XLR-1 を指定することで入手できます。このモデルには 4 ピン XLR コネクタがあり、定格は 12 ボルト DC、5 アンペアです。

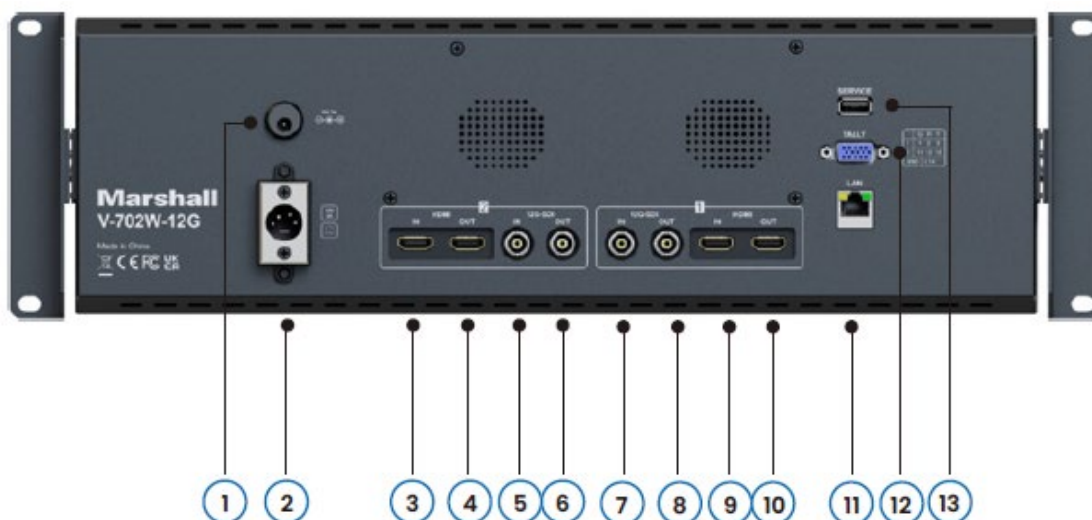
3. 製品の説明

フロントパネル機能



1. ラックマウントイヤー:チルト機能付き。
2. ヘッドフォンジャック:標準 3.5mm ステレオミニフォンプラグに対応。
3. 電源ボタン:スタンバイモードでは赤色点灯、動作時は緑色点灯。
4. INPUT セレクトボタン:HDMI と SDI を切り替えます。
5. F1-F4:ユーザー定義ショートカット機能ボタン (選択時に点灯)。
ショートカット:ファンクションボタンを長押し(3~5 秒)するとメニューがポップアップします。メニューをポップアップします。メニューノブを押すと選択が確定します。
6. MENU ノブ:ヘッドホンの音量を調整するには、押さずにノブを回します。押すとメニューシステムが開きます。

バックパネル機能



1. バレル電源コネクタ

12V DC 電源入力 5.5mm x 2.1mm プッシュオン コネクタ。

付属の DC 電源アダプターをここに接続します。(センターピンは+)

重要: このモニターには一度に 1 種類の電源のみを接続してください。

POWER+12V



2. 4ピンコネクタ

一般的な放送用テレビカメラの 12 ボルト電源と互換性のある 4 ピン XLR DC 電源入力。

注意: 一部の 4 ピン電源は 24 ボルトを供給します。これらはこのモニターと互換性がありません。接続する前に電源のラベルを確認してください。



Pin number	Signal
1	GND
2	No connection
3	No connection
4	+12V

3, 4, 9, 10. HDMI デジタルビデオコネクタ

HDMI 入力とループアウト。エンベデッドオーディオは、ヘッドフォンジャックでモニタリングすることも、画面上で視覚的にモニタリングすることもできます。



5, 6, 7, 8 シリアルデジタル BNC コネクタ

SDI 入力とループアウト。SD-SDI, HD-SDI, 3G-SDI, 12G-SDI 入力と互換性があります。エンベデッドオーディオは、ヘッドフォンジャックでモニタリングすることも、画面上で視覚的にモニタリングすることもできます。



11. イーサネット LAN RJ-45 コネクタ

LAN ポート。モニターは、Marshall Web サイトのアプリケーションを使用して PC から操作できます。Marshall-usa.com で入手できます。



12. タリーコネクタ

表に示すように、タリーコネクタの適切なピンを接地することにより、画面上に赤、緑、または黄色のタリーバーを表示できます。互換性があります。「オープンコレクタ」および「プルダウン」タイプの GPI コントロールを備えています。Ethernet 経由でタリー制御も可能です。



注意: 外部電源をタリーに決して加えないでください。

Screen #1	Tally	Screen #2	Tally
1	Green Light	11	Green Light
2	Red Light	12	Red Light
3	Yellow Light	13	Yellow Light
4	Ground	14	Ground

13. USB 入力

ファームウェアのアップデートとルックアップ テーブル「LUT」のロードに使用されます。



4. メニュー設定

モニターの MENU ノブを押すと、機能メニューが画面にポップアップ表示されます。左または右に回転してオプションを選択します。次にノブをもう一度押すとサブメニューが開きます。メニューに矢印ポインタが表示されたら、MENU ノブをもう一度回して項目にアクセスするか、選択を確認します。

1. PICTURE

PICTURE		
	Brightness	50
	Contrast	50
	Saturation	50
	Sharpness	0
	RGB Range	Limited
	HDMI EDID	4K
	Color Space	Rec709
	Camera Log	Off
	Def. Log	SLog2ToLC-709
	User Log	No Data

PICTURE		
	HDR	Off
	Back Light	100
	Color Temp.	6500K
	Red Gain	128
	Green Gain	128
	Blue Gain	128
	Red Offset	256
	Green Offset	256
	Blue Offset	256
	Exit	

ITEMS	OPTIONS
Brightness	0~100
Contrast	0~100
Saturation	0~100
Sharpness	0~100
RGB Range	Full / Limited
HDMI EDID	4K / 2K
Color Space	Native / SMPTE-C / Rec709 / EBU
Camera Log	Off / Def. Log / User Log*
Def. Log	SLog2 to LC-709 SLog2 to LC-709TA SLog2 to SLog2-709 SLog2 to Cine+709 SLog3 to LC-709 SLog3 to LC-709TA SLog3 to SLog2-709 SLog3 to Cine+709
*User Log	No Data, User1 ~ User6
Gamma	Off / 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.35 / 2.4 / 2.6 / 2.8
HDR	Off / ST 2084-300 / ST 2084-1000 ST 2084-10000 / HLG
Back Light	0 ~ 100
Color Temp.	3200K / 5500K / 6500K / 7500K / 9300K / User**
Red Gain	0~128~255
Green Gain	0~128~255
Blue Gain	0~128~255
Red Offset	0-256-511
Green Offset	0-256-511
Blue Offset	0-256-511

**User を選択すると、これらのゲインとオフセットの調整がメニューに表示されます。

Brightness - 画像内の正しい黒レベルを確立するために使用されます。デフォルト値:50。

Contrast - 画像内の暗い領域から明るい領域までの範囲を確立します。デフォルト値:50。

Saturation - 画像内の色情報の量を設定します。デフォルト値:50。

Sharpness - 画像に合成の「ディテール」を追加します。HD 画像では、シャープネスの追加はほとんど必要ありません。デフォルト値:0。

RGB Range - HDMI 入力の RGB 範囲を Full または Limited の間で選択します。この選択は HDMI 入力にのみ適用されます。REC 709 などのテレビ規格に基づいた HD ビデオを表示する場合は、Limited が正しい選択です。コンピュータグラフィックスを使用する場合、Full の方がより広い範囲の色を提供できる場合があります。

HDMI EDID - HDMI EDID を 4K と 2K の間で選択します。このアイテムを使用すると、PC、セットトップボックス、またはその他のデバイスが最高のビデオ品質を実現できるように自動的に構成できるようになります。この選択は HDMI 入力にのみ適用されます。

Camera Log - この項目を使用して、Def log, User log の中からカメラログモードの 1 つを選択します。

Def. Log - デフォルト (プリセット) ログモード。ログガンマカーブが適用されているカメラからマテリアルを表示する

場合、対応する ログモードが選択されていない限り、画像は正常に表示されません。

User Log - このアイテムを使用して、デフォルトログの 1 つの代わりに「User LUT(Look Up Table)」をインストールして適用します。

User log 「LUT」をインストールするには:

- User LUT 名の末尾が「.cube」であることを確認してください。(これは一般的です)。
- 17×17×17 または 33×33×33 の 2 種類を受け付け、データ順は BGR、テーブル順は BGR となります。
- 1. LUT ファイルの名前を User1.cube から User6.cube に変更します。(モニター内に 6 ファイル保存可能)
- 2. ユーザー LUT をフォーマット済みの USB ドライブにコピーします。
- 3. USB ドライブをモニターの背面パネルの USB ポートに挿入します。User LUT はモニターに自動的にインポートされます。User LUT が自動的にロードされない場合は、[no user data(ユーザーデータがありません)]というメッセージが表示されるか、User LUT を手動でロードするかどうかを選択するメッセージが表示されます。[no user data]と表示される場合は、ファイルが上記の要件をすべて満たしていることを確認してください。

Gamma - ガンマ補正は、暗部と明部間の表示範囲に非線形の「曲線」を適用します。歴史的に、2.4 が選択されるのは、これがほぼ「線形」一致を生成する標準カメラのガンマ 0.45 の逆数であるためです。現在、さまざまなカメラのガンマ値がクリエイティブな目的に適用されることが多いため、表示するために別のモニター ガンマ値が選択されることがあります。一度設定したガンマは、制作撮影中や編集または色補正セッション中には変更しないことが最善の方法です。ガンマ オフは、テスト中、キャリブレーション中、または外部ビデオ プロセッサを使用している場合のみ使用されます。ガンマ範囲は 1.8 ~ 2.8 です。S-Log または User LUT が選択されている場合、ガンマは使用できません。

HDR - HDR(ハイ ダイナミック レンジ)は、一般的な HDR プロセスの 1 つによって強化されたビデオを適切に表示するために使用されます。3 つの SMPTE ST 2084 標準設定が利用可能です。これらは、300, 1000, 10,000 NIT ディスプレイに合わせて調整されています。(10,000 NIT ディスプレイはプロジェクターのみです)。4 番目の設定である HLG は、ブロードキャストに一般的に使用されます。HDR を有効にすると、ディスプレイはより広い輝度のダイナミック レンジを再現できます。モニター設定がビデオ素材に適用された HDR 強調と一致する場合、最良の結果が得られます。通常、非 HDR 素材で HDR モードを使用すると、非常に不自然に見えます。

Back Light - LCD バックライトの明るさを調整します。[Brightness]コントロールとは異なります。バックライトは、コントラストと明るさの調整を損なうことなく、部屋の照明を補正するように調整されます。一般に、他の画像設定を変更する前にバックライトレベルを設定することが最善の方法です。








Color Temp - この設定では、さまざまな一般的な色「温度」に近いホワイトバランスの 4 つの異なるプリセットが提供されます。最も一般的なのは 6500K です。USER では、ゲインとオフセットを調整するカスタムキャリブレーションが望んだ通りに可能です。

R/G/B Gain - 現在の色温度の赤、緑、または青のゲインを 0 ~ 255 の範囲で調整します。デフォルト値: 128。

R/G/B Offset - 現在の色温度の赤、緑、または青のオフセットを 0 ~ 511 の範囲で調整します。デフォルト値: 256。

2. MARKER

このページでは、画面上のさまざまなマーカを設定するためのコントロールを提供します。

MARKER			ITEMS	OPTIONS
	Center Marker	Off	Center Marker	Off / On
	Aspect Marker	Off	Aspect Marker	Off / 16:9 / 1.85:1 / 2.35:1 / 4:3 / 3:2
	Safety Marker	Off	Safety Marker	Off / 95% / 93% / 90% / 88% / 85% / 80%
	Marker Color	White	Marker Color	White / Black / Red / Green / Blue
	Aspect Mat.	Off	Aspect Mat.	Off / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7
	Thickness	2	Thickness	1 ~ 7
	Exit		Exit	

Center Marker - ディスプレイの正確な中央に「+」マークを配置します。(カメラまたはグラフィックスの位置を確認するのに役立ちます。)

Aspect Marker - さまざまな典型的なビデオおよび映画のアスペクト比を表す境界線を画面上に配置します。表示されるアスペクト比は変わりません。その設定は[Display]メニューにあります。

Safety Marker - ビデオ制作中にガイドとして使用するために、画面の端の周りに境界線を配置します。


Marker Color - センター、アスペクト、およびスクリーンのマーカの色を変更できます。

Aspect Mat - マーカーのすぐ後ろの背景を暗くします。

Thickness - マーカーの幅を設定します。

3. DISPLAY

このページでは、画像サイズ、ズーム、チェックフィールド、画像フリーズ、オーバースキャンのコントロールを提供します。

DISPLAY		
	Scan	Aspect
	Aspect	16:9
	Overscan	Off
	Zoom	50%
	H/V Delay	Off
	Check Field	Off
	Freeze	Off
	Image Flip	Off
	Exit	

ITEMS	OPTIONS
Scan	Aspect / Pixel To Pixel / Zoom
Aspect	Full/16:9 / 1.85:1 / 2.35:1 / 4:3 / 3:2
Overscan	Off / On
Zoom	10% ~ 90%
H/V Delay	Off / H / V / H/V
Check Field	Off / Red / Green / Blue / Mono
Freeze	Off / On
Image Flip	Off / H / V / H/V
Exit	

Scan - [Aspect], [Pixel To Pixel], [Zoom]の間でスキャン モードを調整します。

Aspect - 受信ビデオに合わせて画像のアスペクト比（形状）を変更できます。さまざまなビデオや映画のスタイルに合わせて設定が可能です。

Pix to pix - 受信ビデオを 1:1 ピクセル一致で表示します。これにより、最も鮮明な解像度が得られますが、通常は画像のサイズが変わります。これにより、上下の「スケーリング」がオフになります。たとえば、LCD ディスプレイよりもピクセル数が少ないビデオ入力は縮小して表示され、ピクセル数が多いビデオ入力は拡大して表示されます。どちらの場合も、画像は「実際の」解像度で表示されます。

Zoom - 画像をデジタル的に拡大します。通常、画像を拡大すると画質が低下します。

Overscan - 画像をわずかに拡大して、画像エッジの歪みを軽減します。

H/V delay - 画像を垂直および水平にシフトして、HANC および VANC 補助データを含む垂直および水平の「ブランキング領域」を表示できるようにします。

Check Field - 画像をモノクロ（白黒）または個々の原色で表示します。色の分析やトラブルシューティングに役立ちます。

Zoom - 画像をデジタル的に拡大します。通常、画像を拡大すると画質が低下します。

Image Freeze - 現在の画像を画面上に保持します。

Image Flip - 画像を上から下、左から右、またはその両方に反転できます。鏡を通して撮影した画像や、逆さまに取り付けられたカメラから撮影した画像を表示するときに便利なツールです。

4. WAVE

WAVE ページでは、オンスクリーン波形モニター、ベクトルスコープ表示、およびフォーカスピーキング、露出「ゼブラ」、偽色輝度レベルチェックなどのビデオアシスト機能の調整が可能です。

WAVE			ITEMS	OPTIONS
	Full Mode	Off	Full Mode	Off / Y / YCbCr / RGB / Vector / Histogram / Audio
	Waveform	RGB	Waveform	Off / Y / YCbCr / RGB
	Vector	On	Vector	Off / On
	Transparency	50%	Transparency	Off / 25% / 50%
	Peaking	Off	Peaking	Off / On
	Peaking Color	Red	Peaking Color	Red / Green / Blue / White / Black
	Peaking Level	50	Peaking Level	1 ~ 100
	False Color	Off	False Color	Off / Default / Spectrum / ARRI / RED
	False Color Table	On	False Color Table	Off / On
	Exposure	Off	Exposure	Off / On
	Exposure Level	100IRE	Exposure Level	50 ~ 100 IRE
	Histogram	Y	Histogram	Off / Y / RGB / Color
	4 Bar Display	On	4 Bar Display	Off / On
	TimeCode	Off	Time code	Off / LTC / VITC
	Exit		Exit	

Full Mode - 次の分析関数はフルサイズで表示全体に表示されます。このモードではビデオは表示されません

Waveform - フル モードの代わりに波形を選択すると、波形モニター機能のコンパクト バージョンがディスプレイの下部にオーバーレイとして配置されます。オーバーレイは、Y、YCbCr、RGB プレゼンテーションに限定されます。

Y - 画像の左から右への明るさをグラフィックで表現したものです。最も一般的な設定で、レンズや照明を調整する場合に特に便利です。

YCbCr - ビデオ信号の輝度と色成分をグラフィック表示したものです。機器の調整や動作確認に役立ちます。

RGB - ビデオ画像の 3 つの原色コンポーネントのグラフィック表現。装備の調整などに便利です。

Audio - HDMI または SDI デジタル ソースからのオーディオチャンネル（通常は左と右）の棒グラフを画面上に表示します。

Vector - 画像内の色のグラフィック表現。明るさレベルは表示されません。ベクトル表示は、カラーチャートまたはテスト信号で使用されます。

Transparency - 画面上のチャートの可視性を変更します。最適な視認性を得るために必要に応じて調整します。

Peaking - 画像の詳細に色付きのエッジを追加し、どの領域が最も鮮明に焦点が合っているかを簡単に識別できるようにします。

Peaking Color - ピーキングカラーの 1 つを選択します: 赤、緑、青、白、黒。

Peaking Level - ピーキングカラーの量を調整します。範囲: 1 ~ 100。

False Color - 画像内の各明るさを異なる色で表示する方法。画像の一部が明るすぎるか暗すぎるかを簡単に判断

する方法を提供します。10%ステップを表す 10 色があります。デフォルトモードは、他の Marshall モニターのフォーカスカラー機能と一致します。RED および ARRI で使用されるカラーモードに一致する追加のモードが提供されています。

False Color Table - 画面上にカラーガイドを配置します。このガイドでは、各色が 0 ~ 100% のどのレベルを表すかを示します。

Exposure - 写真の最も明るい領域に「ゼブラ」線を作成します。これは、放送カメラのビューファインダーによくある機能を模倣したもので、露出オーバーを簡単にチェックできます。

Exposure Level - ピーキングのレベルを調整します。露出レベルは[50]~[100]まで設定できます。

Histogram - この項目を使用して、ヒストグラムを有効または無効にします。

Y - 画像内の色調分布をグラフで表現したもの。

RGB - ビデオ画像の 3 つの原色コンポーネントのグラフィック表現。装備の調整などに便利です。

COLOR - 画像内の混合 RGB 分布をグラフィカルに表現したもの。

4 Bar Display - YRGB のピーク値をグラフで表示します。

Time Code - タイムコード表示は、埋め込まれた縦方向タイムコード (LTC) および垂直間隔タイムコード (VITC) タイプをサポートしています。タイムコード表示は SDI 入力時のみ利用可能です。HDMI にはタイムコードがありません。

5. AUDIO

このページは、音量、オーディオチャンネル、レバメーター、ミュートを調整するために使用されます。

AUDIO		
	Volume	50
	Level Meter	On
	Audio Vector	Off
	Vector Ch	CH1&CH2
	Audio Ch	CH1&CH2
	Exit	

ITEMS	OPTIONS
Volume	0~100
Level Meter	Off / On
Audio Vector	Off / On
Vector Ch	CH1&CH2 / CH3&CH4 / CH5&CH6 CH7&CH8 / CH9&CH10 / CH11&CH12 CH13&CH14 / CH15&CH16
Audio CH	CH1&CH2 / CH3&CH4 / CH5&CH6 CH7&CH8 / CH9&CH10 / CH11&CH12 CH13&CH14 / CH15&CH16
Exit	

Volume - ヘッドフォンの音量を制御します。メニューが画面に表示されていないときに、MENUノブを回して音量を制御することもできます。デフォルト値:50。

Level Meter - HDMI または SDI デジタルソースからのオーディオチャンネル（通常は左と右）の棒グラフを画面上に表示します。






Audio Vector - これは、左右のオーディオチャンネルを比較する従来の「オシロスコープ」パターンです。トーンが存在する場合、両方のチャンネルが「同相」であれば直線が表示されます。チャンネルが 180 度「位相がずれている」場合、または極性が逆の場合、円が表示されます。通常のオーディオでは、ラインが常に移動するパターンが発生します。

Vector CH - SDI 入力では、チャンネルペアは 1 ~ 16 から選択できます。HDMI 入力では、チャンネル 1 と 2 が使用されます。

Audio CH - SDI 入力の場合、チャンネルペアは 1 ~ 16 から選択できます。HDMI 入力の場合、チャンネル 1 と 2 が使用されます。この設定では、オーディオバーの表示に表示される内容とヘッドフォン出力で聞こえる内容を選択します。

6. REMOTE

このページでは、イーサネット ポート設定の調整を提供します。

REMOTE		ITEMS	OPTIONS
	DHCP On	DHCP	Off / On
	IP Address 0 . 0 . 0 . 0	IP Address	0.0.0.0
	Sub. Mask 0 . 0 . 0 . 0	Sub. Mask	0.0.0.0
	Gateway 0 . 0 . 0 . 0	Gateway	0.0.0.0
	Exit	Exit	

DHCP - イーサネット DHCP モードを有効または無効にします。DHCP がオンの場合、モニターはネットワークから IP アドレスを自動的に取得します。アドレスは、下の [IP]、[Mask]、および [Gateway] フィールドに表示されます。

DHCP がオフの場合、メニューノブと矢印キーを使用して静的アドレスを手動で作成できます。










IP - IP アドレスを設定または表示します。

Mask - サブネットマスクを設定または表示します。

Gateway - IP ゲートウェイを設定または表示します。

7. SYSTEM

このページでは、オン スクリーン ディスプレイ (OSD)、ユニットを工場出荷時設定にリセット (Reset)、カラーキャリブレーションなどのシステム レベルの機能をまとめて提供します。

SYSTEM			ITEMS	OPTIONS
	Language	English	Language	English / 中文
	Color Bar	Off	Color Bar	Off / 100% / 75%
	OSD Timer	30s	OSD Timer	10s / 20s / 30s
	OSD Transparency	Off	OSD Transparency	Off / 25% / 50%
	Knob Config	Sharpness	Knob Config	Back Light/ Brightness/ Contrast/ Saturation/ Sharpness/ Volume
	Color Calibration	Off	Color Calibration	Off / On
	Comparison En	Gamma/HDR	Comparison En	Off / Gamma & HDR / Color Space / Camera Log
	Reset	Off	Reset	Off / On
	Exit		Exit	

Language - 画面上のメッセージを英語または中国語に設定します。

Color Bar - 画面上にカラーバーを配置して、モニターの動作を確認します。

OSD Time - メニューが画面上に残る時間を調整します。

OSD Transparency - 視認性を高めるためにメニューの透明度を調整します。

Knob Config - MENU ノブの機能をカスタマイズします。メニューが画面上にないときの MENU ノブのデフォルトの動作は、ヘッドフォンの音量コントロールと同じです。その後押すたびに、異なる機能が表示されます。最初の機能、またはデフォルトの機能は、Back Light, Brightness, Contrast, Saturation, Sharpness になるように変更できます。



Color Calibration - オンにすると、すべての画像の修正がオフになり、画像はネイティブの未キャリブレーションの状態に復元されます。

Comparison En - 比較モードが有効な場合、ディスプレイの半分には未補正の画像が表示され、残りの半分には Log, HDR, またはガンマ設定（その時点でオンになっているもの）の効果が表示されます。これは、これらの画像修飾の効果を分析するのに便利なツールです。

Reset - すべてのメニュー選択をユニットの工場出荷時の状態に戻します。

8. EXIT

このページでは、信号入力パラメータとシステム・バージョンに関する情報を提供します。

EXIT		
	Source	SDI
	SDI Mode	
	Resolution	
	Frame Rate	
	Color Space	
	MCU Version	V1.2
	FPGA Version	V1.9
		

ITEMS	OPTIONS
Source	SDI / HDMI
SDI Mode	SD / HD / 3G Level (A)
Resolution	H x V
Frame Rate	i or p / xx Hz
Color Space	RGB/ YCbCr422/ YCbCrA422/ YCbCr444/ YCbCrA444
MCU Version	V1.2
FPGA Version	V1.9

EXIT ページにはモニターの現在の状態が表示されます。このページには何も選択できません。MENU ノブを押すとメニュー画面が閉じます。

Source - 現在選択されている入力。

SDI Mode - 現在の SDI 信号タイプ。(HDMI の種類は表示されません)。

Resolution - 現在の入力信号のピクセル構造。横×縦

Frame Rate - 現在の入力信号のフレームレート。およびインターレースかプログレッシブか。

Color Space - SDI 信号のサンプリング構造。[A]は、アルファまたは[Key]チャンネルの存在を示します。

MCU Version - MCU ファームウェアのバージョン。

FPGA Version - SFPGA ファームウェアのバージョン。

バージョン番号は、サポートに問い合わせる際に役立つ場合があります。

9. ユーザー機能のショートカット (F1 - F4) メニューの選択

モニターのフロントパネルには、F1 - F4 と記された 4 つの特殊ファンクションキーがあります。これらは、次の表の通りショートカットキーとしてあらかじめプログラムされています。

FUNCTION KEY	STANDARD SHORT CUTS
F1	Color Space
F2	Full Mode
F3	Waveform
F4	Level Meter

これらのファンクションキーは、まずファンクションキーを約 3 秒間押すことで、いつでも再プログラムすることができます。

ファンクションキーのメニューがスクリーンの右側に表示されます。

MENU ノブを回して希望のファンクション・ショートカットに合わせ、MENU ノブを押して選択します。

各ファンクションキーには、以下のショートカットのいずれかをプログラムすることができます。

OPTIONAL SHORT CUTS		
Center Marker	Camera Log	Exposure
Aspect Marker	Check Field	Histogram
Safety Marker	H/V Delay	Full Mode
Overscan	Freeze	Waveform
Scan	Image Flip	Time Code
Aspect	Color Bar	Mute
Color Space	Peaking	Level Meter
Gamma	False Color	Audio Vector

これらの機能の詳細については、上記の各メニューページをご参照ください。

5. 仕様

パネルサイズ	7 インチ画面×2
パネル解像度	1920×1200 ピクセル
輝度	450 cd/m ²
対比	1100: 1
視野角	160° /160° (H/V)
入力電圧	DC 12V
入力信号	HDMI, SDI 最大 12G SDI
消費電力	≤24W
動作温度	-10°C～50°C
保管温度	-20°C～60°C
寸法 / 重さ	482×133×33 mm / 2.43 kg

6. トラブルシューティング

1. 電源は入っているが、画像が表示されない:

ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、製品パッケージに付属する標準の電源アダプタ、または正しい電圧とピン構成のその他の電源を使用してください。

2. 白黒表示のみ:

色の彩度や明るさが適切に設定されているか確認してください。DISPLAY メニューにアクセスし、Check Field がオフになっていることを確認します。

3. 間違った色または異常な色:

ケーブルが正しく接続されているか確認してください。ケーブルのピンが折れたり緩んだりすると、接続不良が発生する可能性があります。WAVE メニューページにアクセスし、False Color モードがオフになっていることを確認します。

4. 画像が画面上で「動かなくなる」:

DISPLAY メニューページにアクセスし、IMAGE FREEZE がオフになっていることを確認してください。

5. その他の問題の解決:

モニターは工場出荷時の設定にリセットできます。これは、不適切に設定されたメニュー項目が操作を妨げている可能性を排除するのに役立つ場合があります。モニターをリセットするには、SYSTEM メニューページにアクセスし、MENU ノブを押してから左または右に回して[RESET]を選択します。ノブを 1 回押してからノブを回すと、ユニットがリセットされます。

保証

Marshall V-702W-12G デュアル 7 インチ・ラックマウントモニター(12G-SDI, HDMI 入力) は、通常の使用条件下で
ご使用ください。

ご購入日から 1 年間は無償修理保証の対象となります。

この保証はご購入者様のみ適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。

シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。

この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正
は、この保証を無効にします。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上
記の期間を超えて、マーシャルエレクトロニクスに代わって保証期間を延長することはできません。

製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。

保証期間内でも以下の場合には有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

誤った使用方法や、不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。

落下などによる故障、損傷。

火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内サポート窓口

Marshall

BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&Inext Marshall 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

<https://marshall-japan.com/>

contact@minext.jp

2024 年 1 月 24 日